

令和元年度 第2回長野県教科用図書選定審議会議事録（案）

- 1 日時：令和元年6月4日（火）午前10時～16時半
- 2 会場：長野県庁3F 特別会議室
- 3 出席者 ○委員：清水委員、塚田委員、北沢委員、水井委員、佐藤委員、日向委員
小林雅彦委員、荻原委員、栗津原委員、小林里恵子委員、石井委員
木内委員、小平委員、田仲委員、水口委員
○事務局：三輪教育次長、佐倉学びの改革支援課長 他

4 内容

(1) 議事

① 小学校用教科書の選定に必要な資料について

算数

【北沢委員】言葉の定義が抽象的で難しい。例えば東京書籍、「学びを生かす力」、教育出版「顕在化」、日本文教出版「算数の礎を築ける」が抽象的で分からないので教えてほしい。

【調査員】「学びを生かす力」は、資質・能力の3つの柱の3つ目、「学びに向かう力 人間性等の涵養」に関わる事柄。「顕在化」は、限られた分量の中でどのような表現をしようかと調査員が悩んだところ。「数学的活動の楽しさや数学的な活動の良さが実感できるよう」というのは数学の目標（3）に挙げられている。活動の目的は、ここに挙げた数学的活動の目的のこと。問題解決の目的、また、その際に働かせる、数学的な見方・考え方が、見てわかるという意味合いで「顕在化」という言葉を使った。また、「算数の礎を築ける」については、調査員の表したいことを端的に表した言葉として用いさせていただいた。

【佐藤委員】北沢委員からの質問に対して調査員からの答えが明確だったので、修正なしでよいのではないか。

【清水委員】「主体的に」といった言葉を他の言葉で言い換えるとどのようになるか。

【調査員】自分から算数を用いて、目の前の問いや問題を解決していこうという学びの姿が「主体的」ということ。見通しをもって解決していこうというところも「主体的」と言える。

【清水委員】新しい学習指導要領になって評価も話題になっているが、「粘り強く学ぶこと」や「自己調整力」などが大切になってくる。

【水口会長】算数の調査結果についてはこれでよいか。

【委員】よい。

【小林委員】調査結果については良いが、もう少し説明の中で資料と説明の内容が対応してもらうようにしていただけると助かる。

【水口会長】以下説明の際に、説明の内容が理解しやすいように。

国語・書写

【塚田委員】書写の教科書というと、3年生以上になると毛筆になるが、書く目的まできちんと載せられていて分かりやすく、これから教科書を使っていく上で大切に扱っていききたい。

【栗津原委員】資料の8、9ページの3（1）で、単元構成が系統化されというのがあるが、どう系統化されているのか説明してほしい。また、8ページの3（2）に螺旋的に繰り返すとい

う表記があるが、あえて螺旋的とした意図を教えてほしい。

【調査員】系統化については、学年が上がるにつれ、書く文字が、だんだん画数が多くなったり、バランスが大事になるものが増えたりする。画数や文字の形が系統的に段階を追っているということ。「習得と活用を螺旋的に繰り返す」は、書写については、点画の長さや、間隔等を、毎回字を書くときに注意すべきことがあるが、文字の特性によって、段階を追って出てくる。難しい文字だからと言って点画の長さを意識しなくていいということではない。所々で点画を丁寧に捕捉する部分がある。

【栗津原委員】国語の方はどうか。

【調査員】単元構成が系統化されについては、国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと・読むこと」の領域について、それぞれ学習指導要領に沿って、相手を意識することから、だんだんと意図や目的をもっていくことまで触れられている。習得と活用を螺旋的に繰り返すは、例えば、「読むこと」で学んだ読み方を書くときに使うなど、領域をまたいでつながっていくという意味で書いた。

【水口会長】文言を修正したほうがよろしいか。このままで問題はないか。

【事務局】単元構成が、の前に学習指導要領に沿って、を入れるのはどうか。

【水口会長】もしよろしければ、そのように修正したい。

【事務局】螺旋的の確認だが、読んだことを基にして書くとか、話し合ったことについて書くとか、領域をまたいだ活動を繰り返し行うという捉えでよいか。

【調査員】事例として挙げたが、同じ領域の中でもやっているのだから、系統化にもつながるが、同じ「書くこと」でも、学年によって感想文を書くところでも、根拠を大事にするのか、自分の意見を大事にするのか、そういう意味も込めて「螺旋的」とした。学習指導要領にもある言葉なので、そのようにした。

【栗津原委員】今の説明で理解できたので、このままでいい。

【水口会長】そのままの表現としたい。

【水口会長】事務局からの点を加筆ということでよいか。

【委員】よい。

社会・地図

【北沢委員】中学校の教科書は各社論調が違う。小学校の教科書の違いということにおいて、大まかな教科書編集上の違いはないということでもいいか。

【調査員】三社とも児童が自ら追究していかれる展開となっている。取り上げられている具体的な史実の違いはあるが、問いの連続で編集がされているという点で共通している。

【清水委員】具体的に見ることができる資料があって分かりやすい。18、19 ページ 3（4）、社会にみられる課題がある。18 ページの東京書籍は、自然災害があるが、19 ページ教育出版については具体例を入れておいた方がいい。

【調査員】災害防止については共通している。19 ページの方は、人権を大切に扱っているのだから、紙面に入れる。

【水口会長】3（4）社会に見られる課題という文言の前に、自然災害や人権などのとすると、具体が分かるのではないか。

【委員】よい

【小林(雅)委員】18 ページの東京書籍には防災教育や主権者教育が出ているが、こういう大切な視点については、他のところでは扱っているかどうか教えてほしい。

【調査員】この2点については他社でも扱われている。

【水口会長】防災教育、主権者教育などの、を全ての社に入れた方がよいか。どこに入ればよいか。

【小林(雅)委員】教育出版においては、身近な社会的事象の身近なというのはどういう意味を持っているか。防災教育、主権者教育を含むか教えてほしい。もし入るのであれば入れた方がいい。

【水口会長】教育出版、日本文教出版の身近、身の回りという中に、防災教育や主権者教育が当てはまると考えてよいか。

【調査員】見る角度の違いかと思う。防災教育や主権者教育ということの中で、例えば身近な図書館の建設などのところから入っていくという意味で、身近な社会的事象となっている。

【水口会長】例えば19 ページの1の身近な、を削除し防災教育・主権者教育などの社会的事象を、としたり、20 ページの1の身の回りではなく、防災教育・主権者教育などの社会的事象からとしてよいか。

【調査員】齟齬はない。

【小林(雅)委員】無理して入れる必要はないのではないかな。

【佐藤委員】教科書の選定という立場で各会社の教科書を見た時に、東京書籍については防災教育・主権者教育等に際立って視点を置いていると感じたからこのように表記をしているのだと思う。教育出版と日本文教出版の教科書も扱ってはいるが、特徴としてはこの部分を特徴として変えなくてもいいのではないかな。

【委員】よい。

【日向委員】QR コードは特徴としてとらえてよいか。

【調査員】よい。

【水井委員】19 ページ(4)で、東京書籍の方に特色があるように読み取れた。単元展開に位置付けることにより、という一文で自然災害などの課題を繰り返し取り上げていると感じた。教育出版はコラム的に取り上げられているように感じた。

【水口会長】18、19 ページに加筆する以外は原文のままでよいか。

理科

【塚田委員】信州教育出版社は長野県内を扱っているが、他社の教科書は主にどのようなところを扱っているのか。

【調査員】他社のものは全国的な教科書なので、全国各地のものが扱われている。

【佐藤委員】啓林館4について、巻末の教材について特徴的な印象で、お得感がある。教科横断的に学習する手掛かりにもなる。他社のものはお得なものはないのかな。

【調査員】6社のうち、1社を除いて巻末の資料がある。ページ数等、啓林館のものが充実している。

【栗津原委員】「問題解決の過程」というのが共通して取り上げられているが、大日本図書では「問題解決の過程を繰り返す中で」とあるが、教科書のどの部分になるか。「予想しよう」「計画を立てよう」という見出しを基に学習の過程が示されているといった表記が必要ないか。

【調査員】掲載されているが、量が多いので資料には割愛している。

【水口会長】意見がないようであればよいか。

【委員】よい。

【水口会長】ここまでの教科で何か意見はあるか。

算数・国語・書写・社会・地図・理科

<国語>

【曾根原幹事】国語で、「単元構成が系統化されており」をより具体的にということ、学習指導要領に沿ってというのは当然なので、もう少し具体的にということ、「育成する言語能力に沿って単元構成が系統化され」というのはどうか。

【委員】よい。

<算数>

【小林(里)委員】ユニバーサルデザインについて、算数の学校図書(5)の「カラーバリアフリーとなるよう配慮されている」、教育出版「全ての児童にとって学習しやすい紙面となるよう」とある。他の会社は具体的に書かれているが、この2社も、具体的な特徴的な例があれば加えたい。

【調査員】より具体的にということであれば少し時間が欲しい。

【峯村幹事】算数で、表現が硬いというやりとりがあった。調査員の説明により、このままということになったが、市町村等の方はこの文章だけを読んで判断するので、少しでも分かりやすくと思いついてみた。26 ページ「学びを生かす力」を「自ら学んだことを生かす力」とし、29 ページ4の「顕在化」を「見える化」へ、31 ページの「礎」は「力」に置き換えて意味が通じるのではないか。

【委員】よい。

<理科>

【浦野幹事】理科で「態度を養うよう」という表現と「態度が養われるよう」という表現がある。少し意味が違ってくるのでそろえた方がいい。また「話し合い方」とある。別の表現の方がいい。

【栗津原委員】教科書を通して養うと考えれば「態度を養う」とした方が適切。

【曾根原幹事】学習指導要領にある言葉で「態度を養う」とするのはどうか。

【水口会長】教育出版の方を「態度を養う」に修正でよいか。

【委員】よい。

【水口会長】「話し合い方」についてはどうか。

【塚田委員】「考察の仕方」に合わせ、「話し合いの仕方」としたらどうか。

【委員】よい。

<算数>

【水口会長】先ほどの算数について。

【調査員】29 ページ教育出版2(5)について、具体的な記述をという指摘について提案する。「読みやすさに配慮した文字の大きさや書体、識別しやすい配色などの配慮がされている。」としたい。

【委員】よい。

<社会>

【調査員】具体的な表現についての指摘について。1 点目 18 ページ東京書籍1「防災教育・主権者教

育などの」について、他の教科書全て記載があるので誤解をもたれないよう、この文を削除し「社会にみられる課題を取り上げ」と提案したい。2点目は3（4）自然災害やESD、SDGsとある。SDGsは他社にも取り上げられているので、より正確にということで「自然災害やESDなどの」として提案したい。

【委員】よい。

音楽

【水井委員】全体的な特色のところで、教育芸術社では「郷土の音楽」という記載があるが、教育出版には記載がないがなぜか。

【調査員】調査したところ、教育芸術社の方が「郷土の音楽」について扱っている部分が全体的に多いので、あえてこのような記載になっている。

【小林(里)委員】教育出版の3（3）で「児童」とある。芸術者の方は「友」という表記。これは意図的に変えたのか。

【調査員】どちらも、仲間と関わり合いながら、という意味合いで書いた。「児童」にそろえたい。

【水口会長】「児童と関わり合いながら」ではなく、「児童が互いに関わり合いながら」と変えるということでもいいか。

【調査員】両社とも「友と」という記述が出てくる。やはり教育出版の方を「友と関わりながら」に変えるのはどうか。

【委員】よい。

生活

【北沢委員】それぞれの教科書の違いが分かるように明解に記載されている。

【清水委員】光村図書の4「幼児教育や中学年以降」の文で、「例示されるよう配慮されている」の部分が分かりにくい。先程の説明の方が分かりやすい。

【調査員】説明では「例示され配慮されている」とした。

【栗津原委員】「例示され」の対象は教師か児童か。

【調査員】対象は子ども。

【栗津原委員】子どもたちが、自分たちが今まで学んだことや、これから学ぶことを関連付けて学習できるよう配慮されているということでもいいか。

【調査員】よい。

【栗津原委員】子どもたちの経験を生かしたり、中学年以降の学習と関連させながら学べるように配慮されたりしているということでもいいか。

【調査員】「例示され」というのはなくてもいいか。

【栗津原委員】子どもたち自身が、学びの連続性が分かるように教科書が構成されているということか。

【調査員】その通り。

【水口会長】「幼児教育や中学年以降の教育との接続、他教科との関連に生かせることが、子どもたちに分かるよう配慮されている」というのをたたき台に修正を。

【清水委員】光村のところは、たくさん例示されているということだと思う。他に比べて種類がたくさんあったりいろいろな角度から書かれていたりするということだと思うが、「幼児教育や中学年以降の教育との接続、他教科との関連に生かせる活動が例示され、学びの連続性に配慮さ

れ…」といったことだと解釈している。

【佐藤委員】「多様な例示」の部分を最初にしてもらえるとよい。「活動の多様な例示により、幼児教育や中学年以降の教育との接続、他教科との関連に生かせるよう配慮されている。」の方がはっきりする。

【委員】よい。

家庭

【佐藤委員】開隆堂の「全体的な特徴」の中に、英単語のことが書かれている。東京書籍の欄外にも英単語が載っている。もし共通しているのであればどちらにも入るべきか。

【調査員】確かに東京書籍にも載っている。東京書籍の全体的な特色として載せた、2年間の活動を一覽で見られる方がより重要だと考え、そちらを載せた。

【水口会長】英単語がある点についてはどうか。教科書欄外に「一口メモ」を加え、英単語を削除する方向でよろしいか。

【委員】よい。

図画工作

【清水委員】わかりやすい。

【水井委員】開隆堂の特色に、「児童が対話しながら追求している写真が多く掲載されていることにより、深い学びのイメージが…」とあるが、自分自身や対象との対話も「対話的」とすると、日本文教出版の方も対話の写真があると思う。

【水口会長】対話をしているイメージの写真の分量に違いはあるか。

【調査員】開隆堂の方が、友との対話が多かった。日本文教出版は、友との対話の写真もあるが、個でひとり込む写真が多い。

【水口会長】図画工作についてはこれでよいか。

【委員】よい。

保健

【塚田委員】養護教諭の協力が大切になるが、そういった表記があるものとないものが分かれている。その点についてどうか。

【調査員】保健教諭の表記については、保健教諭がキャラクターで位置付けられている教科書について、そのように表記した。

【小林(里)委員】それぞれの教科書で工夫されているところがよく分かる。

【石井委員】一般公募委員として見た時に、昨年度とどういった点が変わったのか、自分が授業をやっているわけではないので、分かりづらい。カラーコピーはあるが、画像等を与えてほしい。

【曾根原幹事】全体的な特色の中に「資質・能力の育成」という文言が使われている教科書がいくつかある。例えば学研教育みらいでは、「課題を見だし、他者と交流しながら多様な学習活動を通して、資質・能力を育成できる…」と書いてある。大日本図書では「絵から日常に潜む保健的な課題を見だし、資質・能力を育成する…」とある。説明では、「保健の見方・考え方を養い」と言っていた。説明と書かれたものに違いがあるが、どちらが正しいのか検討したい。

【調査員】大日本図書の方を「絵から日常に潜む保健的な課題を見だし、活動を通して資質・能力を育成する」と修正したい。

【曾根原幹事】上の3(3)に、「1時間の中に「話し合ってみよう」「やってみよう」「活用して深めよう」などの学習活動を位置付け」とある。ただの「活動」ではなく3(3)を受け、「多様な活動」と入れた方がいい。

【委員】よい。

【水口会長】これまでの音楽からの種目について意見はあるか。

音楽・生活・家庭・図工・保健

【委員】なし。

外国語

【栗津原委員】各社1を次のようにしたらよりわかりやすいと思う。東京書籍の「各単元の最後に…」を削除し「文化や場面の様子が分かる写真が掲載されるなど、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう工夫されている。」三省堂は「分かりやすく伝えること、会話を続ける工夫などが扱われ、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うよう配慮されている。」光村図書は「多様な文化に触れたり、友と関わりながら活動したりすることをおして、主体的に学習できるよう工夫されている。」共通していることは、主体的に学びに向かうという姿を養うことを伝えたいと思うので提案する。

【委員】よい。

【日向委員】「別冊が付いている」という記載がされているもの以外には、そういうものはないということでもいいか。

【調査員】東京書籍の別冊については、これのみが別冊になるので、記載したい。付録については、開隆堂に同様のものがあるので確認する。

【木内委員】QRコードがところどころにあった。これは、授業の中でどのように生かされていくものなのか、家庭学習で使っていくものなのか。

【事務局】第1回の時にもQRコードの先も教科書になるのかという質問があった。QRコードの先は教材の扱いなので、教科書から教材にいけるということ。この教材の使い方については、それぞれの先生が工夫される場所。もちろん家庭学習でも活動できる。

【木内委員】ばらつきがあるということですね。

【水口会長】教科書に関してはその内容について検分されているが、教材となったときに何らかのばらつきが生じるという質問。

【曾根原幹事】今やってみたが、家庭学習にネイティブの英語を聞ける。これが付録として付いていることについて、各採択地区等では評価を進める。この良さを出すことはしない。

【北沢委員】全体の特色に、2社だけが「主体的」という言葉が入っている。上の方を見ると、どの社も2か3に「主体的」と入っているが、教科書の特色として、特に大事に読まれる「全体的な特色」のところに書いてあったりなかったりするのはいかがか。

【調査員】1については、先ほどの修正で、「主体的」が入るようになった。そこもあわせて、「全体的な特色」ではないが、どの教科書会社でも「主体的な」が全体の1カ所には入っているのでこのまま入れたい。

【水口会長】採択の際に4の部分は教科書の特色として大事だということがあった。このままでいいのか、なくした方がいいのか。

【曾根原幹事】「全体的な特徴」は目立つので、東京書籍は「主体的に」を削除して「見通しをもちながら活動に取り組む…」として、教育出版も「主体的な」とあるので「単元の目標が明示され、必然性のある活動や「ふりかえり表」を通して、児童が学習の見通しをもって学べるように工夫されている。」とし、「主体的」をなくせば差がなくなる。

【小平委員】啓林館の4にも「主体的な」があるので変える必要がある。

【水口会長】「児童が主体的に取り組む」を抜かせばいいか。

【曾根原幹事】光村図書は、先ほどの修正で、1に「主体的」が入った。啓林館は「活動を通して、児童の学びに向かう力を高められるよう配慮されている。」とすると、キーとなる「主体的」という文言は平等になる。

【委員】よい。

【清水委員】中学校との連携が扱われているが、教育出版の「My Book」と、開隆堂の4「また中学校の学習につなげる学習も含まれている」の2社だけ触れている。他のところも中学校のことについて書いてあるが、これだけ書いてあるのはどうしてか。

【調査員】開隆堂は巻末に「中学校につなげよう」というタイトルのページが分かれているため記述した。教育出版の「My Book」は、子どもたちがこれを持って中学校で自己紹介に使えるようになっている。子どもたち自身が中学校につながる学習だと意識できるため記述した。

【清水委員】「中学校の学習につなげる学習」というのも、学習が続いて分かりにくい。

【栗津原委員】「つなげる学習」の「学習」を「内容」にするのはどうか。

【委員】よい。

【清水委員】小・中連携について特徴があるから、2社について書いてあるということだが、その他の会社も小・中連携は図られていると思うが、調査の際はどうだったか確認したい。

【調査員】小・中連携についても調査した。子どもたちの意識として、小・中連携という言葉載せているのは2社。

【曾根原幹事】内容も含まれていると、ここだけ言うことは、他社は含まれていないということになる。中学校の学習につなげる内容に工夫がある、であれば、工夫があるということになる。他がなくここだけあると言い切れるか。

【調査員】確かに内容と言われると難しいところもある。

【調査員】開隆堂の4について修正する。ワークシートや中学校へつなぐ文言も他社にも記述があるので、削除することとし、「児童の興味・関心に配慮し、複数の単元で学んだことを活用し、自分の思いを伝える言語活動が位置付けられている。」へ修正したい。理由は、開隆堂の教科書には複数の単元を学んだ後に「Project」という単元が年に2つある。ここでは「感謝の気持ちを伝えよう」など、子どもたちが自分の思いを伝える言語活動を行うようになっているため。続けて教育出版4「中学校での学習に生かせるよう配慮されている」とあるが、他社にも同様のものがあるため「6年生の最後には、児童が身に付けた力について「My book」としてまとめ、自己の高まりを実感することができるよう配慮されている。」としたい。

【調査員】よい。

道徳

【北沢委員】道徳は、「評価」がキーワードになる。東京書籍は4に評価について書かれている。学校図

書は「評価」という記述はなく、3（5）に「捉えられるよう」と書いている。少し弱くなっている。教育出版は、評価がなく、3（5）に「成長が把握できるよう」とある。光村は3（5）で「振り返りの記述を促すことができる」となっている。日本文教出版は、4で「評価が可能になる」と、非常に強い書き方になっている。私が授業者で評価に困っているとしたら、私はこの教科書にする。光文書院は3（5）「蓄積できるように工夫されている。」学研教育みらいは3（5）に「児童の変容・成長を把握できるように工夫されている」とある。廣済堂あかつきは3（5）「評価のよりどころとすることができるよう工夫されている」とある。各社の評価に対する報告書に強烈な差がある。本当にそうなのか。

【調査員】東京書籍は、教科書の最後に学習のまとめが付いている。学習の記録もあり、記述が苦手な子も色塗りのできるよう示している。また、学習の振り返りで、顔の絵を塗るだけでいいものが付いている。ノートが付いている会社が2社。廣済堂あかつきにはノートが付いていて、日本文教出版にもある。こういった付録が付いている教科書については、評価について強調して書いた。他の会社が評価について配慮されていないかと言えばそうではない。

【水口会長】教科書の実態と対応しているということ。選定の際に目立って影響があるものかどうかということを考えてい。

【事務局】「評価」という言葉を取って「把握できる」などの言葉に変えるのはいかがか。

【曾根原幹事】別冊ノートが付いているものはそのまま書けるが、別冊ノートがついていない教科書も、例えばCDなどが付いていてワークシートは作れる。別冊ノートがあるから評価が可能で、なければ評価できないというのでは困る。別冊ノートで累積した記述で見ることができくくらいならいいが「評価が可能」となると、他は評価ができないのかということになる。逆に受け取り方としては、別冊ノートの使いやすさがあると思う。事実として伝えるだけで、判断は採択地区に任せるようにするのがいい。

【調査員】付録が付いていないと評価できないと捉えられてしまうという指摘について訂正したい。東京書籍4「評価に関わる」を「学びを振り返る」に変更。日本文教出版4「学習の振り返りを記録できる別冊の「道徳ノート」があり、考え方の変化や成長を確かめられるよう工夫されている。」としたい。廣済堂あかつき3（5）「評価の拠り所」を、「児童、保護者が読み返し学習状況を振り返るとともに、成長を確かめられるよう工夫されている。」としたい。

【委員】よい。

【水口会長】全体を通していかがか。

【委員】なし

② 特別支援学校小・中学部及び小・中学校特別支援学級において教科用図書として使用する一般図書の選定に必要な資料について

【栗津原委員】国語の「ことばえほん」で、多方面から言葉を理解できる、という説明があったが、多方面、という言葉が示されていればいいが、多角的の方が分かりやすいか。理科「みんなのうんち」の中で、様々な動物の排便の様子を取り上げて、興味・関心を広げていけるように工夫された…とあるが、絵本の内容はそうだと思うが、「へびのおしりはどこ？」と投げかけがあって体に着目できるようになっているということなので、興味・関心を広げていくのはそういう方向だと考えると、また、体について取り上げることで、興味・関心を広げるように工夫

された内容になっている。前半は自然現象で取り上げ、後半は体のことにも触れながら興味・関心を広げている内容とした方が分かりやすい。

【調査員】多方面という言葉については、いろいろな言葉を獲得できるイメージで書いたので、多角的で構わない。絵本の中で体のことを扱いながらということなので、様々な動物の体について取り上げることで興味・関心を…としたい。

【委員】よい

③ 教科用図書の採択に関する教育委員会への答申（案）について

(2) 教科用図書の採択に関する教育委員会への答申

*** 議事内容については、全員意義なく承認されました。**